

いわて 議会だより

2013.09

29

Contents

- 2 第2回定例会
- 3 一般質問
- 12 委員会報告
- 14 フォトギャラリー
- 9月議会の本会議
開催予定日

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野 209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成25年第2回定例会

案 件 名	結 果	賛否（○……賛成 ×……反対 —……賛否に加わっていない）															
		公明党 議員団			日本共産 党議員団		岩出クラブ			郁青青 クラブ		ネット岩出					
		宮 本 要 代	玉 田 隆 紀	田 畑 昭 二	市 来 利 恵	増 田 浩 二	西 野 豊	上 野 耕 志	福 山 晴 美	松 下 元	山 本 重 信	三 栖 慎 太 郎	梅 田 哲 也	田 中 宏 幸	井 神 慶 久	吉 本 勸 曜	尾 和 弘 一
岩出市税条例の一部改正〔専決処分〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市都市計画税条例の一部改正〔専決処分〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市国民健康保険税条例の一部改正〔専決処分〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度岩出市一般会計補正予算（第6号）〔専決処分〕	承認	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）〔専決処分〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第4号）〔専決処分〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第4号）〔専決処分〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長等の給料の臨時特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
職員の給与の臨時特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市子ども・子育て会議設置条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市道路占用料徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成25年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度岩出市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第1号）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第2号）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第3号）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第4号）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市に第三中学校の建設をもとめる請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	○	—	×	×	×	×	○	
年金2.5%の削減中止を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	

（議長のため、賛否に加わることができない。）

一 般 質 問

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
※内容等については質問者にお問い合わせください。

山 本 重 信 議員 4 頁

- ◎認知症と高齢者対策について
- ◎公園管理について
- ◎通学路管理について

増 田 浩 二 議員 8 頁

- ◎公民館について
- ◎交通公園について
- ◎岩出市のアピール対策について

宮 本 要 代 議員 5 頁

- ◎防災対策について
- ◎熱中症対策について
- ◎胃がん検診について
- ◎補聴器購入費について

尾 和 弘 一 議員 9 頁

- ◎公の施設管理について
- ◎女性問題について
- ◎ごみ有料化について
- ◎用水路について
- ◎学校給食について
- ◎市民サービスについて

三 栖 慎 太 郎 議員 6 頁

- ◎入院に係る保険診療の自己負担分に対する助成、中学生までの拡大について
- ◎公立学校教育の品質向上について

市 来 利 恵 議員 10 頁

- ◎道州制について
- ◎20歳・30歳代の健診について
- ◎高齢者肺炎球菌ワクチンへの助成について

田 畑 昭 二 議員 7 頁

- ◎大池公園の管理について
- ◎交通事故対策について
- ◎各自治会の集会所の耐震化について
- ◎平成27年9月の紀の国わかやま国体について

玉 田 隆 紀 議員 11 頁

- ◎期日前及び不在者投票の対策について
- ◎有害鳥獣対策について



残暑お見舞い申し上げます。

市民皆様のご健勝を
お祈り申し上げます。

岩出市議会議員一同



山本 重信 議員
(都青青クラブ)

質問

認知症と高齢者対策 について

- ① 岩出市の認知症患者の人数と、人口に占める割合は。
 - ② 認知症対策を、どのように実行されているのか。
 - ③ 特別養護老人ホームや、介護施設が少ないが、今後の対策は。
- 答 弁 生活福祉部長**
- ① 平成25年度5月末現在の65歳以上の要介護・要支援のうち、認知症があると判定された方は、800人で、人口に占める割合は、8.4%です。全国平均では15%です。

充実した高齢者対策は

《公園と通学路管理について》

② 岩出市では、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で、自立した生活が送れるように、介護予防の取り組みを進めています。実施項目として、和歌山県が開発した認知症予防教室プログラムにそって正しく理解し、楽しみながら実践できる予防教室の開催や、適切な運動や、地域社会との交流や、趣味活動等を通して、認知症予防対策を進めています。また、認知症サポーターを養成し、安心・安全な予防対策に努めます。

③ 特別養護老人ホームについては、委員会を立ち上げ、必要量を調査していきます。その他、関係機関と連携し地域福祉を推進してまいります。

質問

公園管理について

岩出市内に、区や自治会管理の公園が約280あります。管理は区や自治会ですが、団地内の人たちが高齢化し、管理が難しくなっています。

公園管理を申請制度として、市で管理するべきだと考えます。



答 弁 事業部長

自治会内の公園は、自治会での日常管理を原則としており、自治会では困難かつ危険を伴う高木の伐採や、ペンキ・除草剤等の消耗品・原材料を支給し、公平性を原則の範囲で対応しています。



質問

通学路管理について

通学路上に開口部ができ、多くの車が通行し、通学中の子どもたちが、危険な状態となっています。

答 弁 事業部長・教育部長

※対策をとるべきです。対策としては、宅地開発調査会を開催しています。当然、通学路の部分も入っています。担当者、今回教育委員会の認識が甘かったと反省しています。



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

防災計画に 女性の視点を!

防災対策について

質問

- ① 防災会議の委員の構成人数とそのうち女性委員は何名いるのか。
- ② 備蓄品や避難所の運営等の防災計画の見直しに女性の視点が反映されるのか。

答 弁 総務部長

- ① 防災会議は27名の委員で構成。女性委員は1名である。
- ② 各委員の所属している機関へ、女性の意見も反映できるよう依頼。



- ・ 市役所に届けられる女性の意見を生かす。
- ・ 審議事項は、事前に市の女性職員に内容等検討・協議し、確認したうえで提案する。

質問

- ① 避難所運営や防災意識の向上を目指し、防災についての市民講座の開催について。
- ② 目や耳に障がいがある方への防災情報の周知について。
- ③ 災害時の要援護者の名簿作成・支援体制、また、要援護者の方への周知について。

答 弁 総務部長

- ① 10月に成人講座「市の防災対策とワークショップ」を開催。
- ・ 団体等の要望に、防災に対する説明会を開催。

答 弁 生活福祉部長

- ② 聴覚障がい者の方には、避難勧告の発令等は、緊急時に備えて名簿作成。

成。

- ・ 岩出市安心安全メール配信サービスへの登録を呼びかけている。
- ・ 視覚障がい者の方には、防災行政無線による情報伝達。
- ・ 音声自動応答システムの利用等の周知と啓発に努める。
- ③ 要援護者名簿は平成24年に作成を完了している。
- ・ 平成25年度は名簿を関係機関・団体等に提供し、災害等発生時に活用を依頼。

補聴器購入に助成を

質問

難聴と診断されながらも、障がい者手帳を取得できない軽から中度の18歳未満の人を対象に、県が補聴器購入費の3分の1の補助を公表。市としてさらなる助成を。

答 弁 生活福祉部長

- ・ 18歳未満の難聴児に、県、市合せて補聴器購入費の3分の2を助成。
- ・ 非課税世帯は全額助成する。



胃がんの発がん因子であるピロリ菌を除菌することは、胃がんの予防効果が高い。
胃がん検診にピロリ菌検査を。
熱中症対策として、保育所、小中学校にミストシャワーの設置を。
質問しました。

○入院に係る自己負担分に 助成を!

○教育の環境・品質向上のために、 最優先の人員と予算で!



三栖慎太郎 議員
(都青青クラブ)

入院に対する助成を
中学生まで拡大する
について

日本の子どもに対する給付は圧倒的に少なく、医療費助成を含む子育て支援拡充は、国が早急に行うべき。

ただし、入院という突発的な大きなリスクは、国の改革を待っただけでなく市が積極的に支援すべきというのが私の考え。

質問

- ① 小学生入院まで助成範囲を広げた理由。
 - ② ①検討時、中学生を対象外とした理由。
 - ③ 市試算の中学生入院助成、概算費用額。
 - ④ 入院という突発的な大きなリスクについては、小・中学生で発生確率に差はなく対象の区分は不要。
- 答 弁 生活福祉部長**
- ① この制度は、乳幼児医療費助成からスタートしている。小学校低学年は、保育所年長児と極端な差はなく受診の機会も

- 多い。よって、当該世帯の経済的負担軽減を図るため、助成対象を拡大した。
- ② 受診機会の多い、小さな子どもに係る医療費について、様々な子育て支援策との均衡等を勘案する中で、当該世帯の経済的負担軽減を図るものであり、中学生は対象外。
 - ③ 中学生の入院に係る市の助成額は、年間、約122万円。国保に係る国庫支出金の減額は約22万円。
 - ④ ①②の答弁と同じ。



教育品質向上のため
新校建設だけに
答えを求めるとは
なくすぐ動き出
せる対策を、最優
先の人員と予算で!

質問

○ 学校教育の品質向上のため、学校建設以外で考え得る対策を全て講じているか。また、人員・予算というレベルで、最優先施策であると認識しているか。

- 以下は具体的提案。
- ・ 市単独での、さらなる教員加配を。
 - ・ 授業以外での無料学習支援制度を導入し小・中学で継続的な授業理解の補完を。
 - ・ 発達障害等、特別な配慮が必要な子ども達をケアするため、教育・医療等包括的なネットワークのさらなる充実を。

答 弁 市長

優先的に予算配分しており、今後も予算、施策

について十分配慮を行い
充実を図っていく。

答 弁 教育部長

提案内容はすでに実施しており、他にも様々な面から、学校教育の品質向上に取り組んでいる。

答 弁 教育長

提案内容は、市教委も重視して取り組んでおり、さらなる内容充実のため教職員の資質向上にも努めている。また、チームワーク・フットワーク・ネットワークを大切にしながら、市ならではの教育の展開・推進に努める。



大池公園の整備と 維持管理体制は

大池公園の管理体制と、環境整備は

質問

- ・遊歩道の街灯が数ヶ所破壊されている。
- ・女子トイレのドアが壊された状態である。
- ・障がい者用トイレの鍵がかかりにくい。
- ・ゴミ袋が数個放置されたままになっている。
- ・土手の雑草が生い茂ったままになっている。
- ・以上の善処と、維持管理体制は。



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

維持管理はボランティアの方々で。

答 弁 事業部長

現在、周辺の有志の方々の協力によるボランティア活動によって、公園部のごみ清掃や除草、芝生の管理ができています。施設の破損等は入札により、施工業者が決まり、速やかに実施する。なお、ごみ袋は放置ではなくボランティアの方々が集めて頂いた袋を一時的に置いてあり、周期的に処分している。

質問

交通安全対策について。

県道新田広芝岩出停車場線が一部拡幅され、スピードを出した車が多くなり、先日、重大事故が



県道新田広芝岩出停車場線

答 弁 事業部長

県に安全対策の要望をして行く。

発生し、その対策として見通しの悪い所はカーブミラーを。また、道路にスピードを出さないような標記を行うなどして、未然の事故防止策が必要ではないか。

質問

自治会の集会所の耐震化の補助事業を。

今後の大災害も想定されている中、有事には自治会の集会所が貴重な一時避難場所として考えられ、昭和56年以前の集会所には住宅と同じ様な補助事業として導入できないか。

自治会の要望を見た上で検討して行く。

答 弁 総務部長

平成19年度に岩出市地



大池公園

区集会所整備事業補助規則を一部改正し、地区集会所を耐震診断する場合の補助項目を加えた。補助内容は、診断に要した費用の3分の1以内で、上限5万円の補助、耐震工事が必要になった場合は改築工事として、費用の3分の1以内、上限50万円を限度して補助を行っている。今後、補助率、あるいは限度額の引き上げ、市独自の制度は、自治会からの要望を見て検討して行く。



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

「公民館の貸し出し時間 利便性を図り改善を」

午前中開いていない公民館がある

質問

市民の方から岩出市では公民館が借りにくい、使いづらいつの声がある。管理条例で公民館は9時から利用できるにも関わらず、午後1時開館の状況になっている公民館がある。子育て中の方が、会議や行事で一番集まりやすい時間帯は午前中とことです。市民が利用しやすいような改善策を取るべきではないか。

答弁 教育部長

条例で開館時間を定めていますが、利用状況を考え現在の貸し出し状況としている。今年度、さぎのせ公園にコミュニティセンターの機能をおわせもった公園管理棟が

建設される。各施設が適切に配置されており、新設の計画はありません。

答弁 教育部長

要望があると伺ったが生涯学習課には、そのような声は上がってきていません。

質問

一番集まりやすい時間の午前中に開けてほしいという声への改善は。

質問

交通公園のトイレは、戸も古く、ペンキも剥げ落ち傷んできています。トイレの改修を。また、以前は投票所も設置されていた経緯もあり、プールの管理棟も含めて地域の集会所にも利用できるコミュニティ施設の建設を考慮すべきではないか。公園の拡張の考えは。

答弁 教育部長 選管委員長

傷んできている状況と捉えているが、今のところ使えると考えている。投票所の区割り見直しはその都度変えるのは感心しない。公民館的要素の施設改善計画はありません。交通公園の拡張は考えていません。

交通公園の改善対策を



交通公園の全景写真

岩出市をアピール この視点から

○「そうへいちゃん」以外の新キャラクターの研究検討の状況は。
○「根来大唐」栽培農家を増やす品種改良などの調査や研究の状況は。
○根来の子守唄、岩出甚句、岩出おどり、民話などの地域文化の継承にどう取り組むのかの質問も行いました。



尾和 弘一 議員

ごみ有料化後の減量効果と実績はどうか

「家庭系ごみ12.9%減、事業系ごみ20.3%の増、期待していたまでに至らず」と答弁

質問

ごみ有料化後の検証・減量効果と実績はどのようになっているのか。

- ① ごみ袋が破れやすい。どのように改めたのか。
- ② 前年と比較して減量の実績はどうか。
- ③ 事業系ごみの増加について、個別に対応したいと言っていたがどうか。
- ④ コンビニ等への持ち込み対策はどうか。
- ⑤ ごみ袋の原価はいくらか。
- ⑥ 販売手数料はいくらか。
- ⑦ 費用対効果はどうか。

答弁 生活福祉部長

- ① 業者に原因究明の指示をし、袋を厚くした。今後迅速に改善したい。
- ② 本年5月までの可燃ごみの量は、期待していたまでに至らずとも、減量化が図られている。
- ③ 事業者数が増加して



いる事が原因の一つである。

- ⑤ 45円で7.47円、30円で5.78円、20円で4.69円である。
- ⑥ 販売手数料は一枚当たり3円である。
- ⑦ 初年度であり現時点で整理、まとめたものはない。今後、分析、評価をしていきたい。

答弁 生活環境課長

- ④ 今後実際のコンビニに聞き取りをしていきたい。

質問

第三中学校の新設につ

いて、岩出市はマンモス校になっており、学びの環境を改善することが大切です。「いつやるのか、今でしょよ」を市長に送りたい。

答弁 教育部長

生徒数の増加を注視し、中長期的視野に立つて検討していく。現時点では第三中学校の建設の予定はない。

質問

中左近池下流の用水路漏れにより、法面が常にジメジメしています。早急な対策を求めます。

答弁 事業部長

用水路の管理者である住持・中左近両ため池土地改良区に問い合わせた所、補修を行うとの回答がありました。なお、現在、通水期であり秋以降に実施するとの事です。

質問

市役所ロビーに給水器の設置をしてほしいとの声がある。熱中症対策として、いつでも飲める水を自動洗浄機能付のクー

ラー設置を求めます。

答弁 総務部長

中学校・体育館及び図書館に設置しています。庁舎は利用時間が短いことから設置は考えていない。しかしながら、住民サービスの提供と防災時の避難所としての役割を果たす観点から、玄関ホールに災害対応型の自動販売機を設置していただきます。公民館は管理人がいますので申し出ていただければ、水道水を用意させていただきます。

その他

- ① 公施設の管理について。
- ② 慰安婦問題について。
- ③ 学校給食のトランス脂肪酸の規制について、質問しました。

高齢者の肺炎球菌ワクチンに 公費助成を!!



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

2011年度の人口動態統計で肺炎による死者数は、12万4000人を超え、国における死因の第3位となりました。特に高齢になるほど死亡率が増加する傾向が明らかになっています。

肺炎に有効予防の1つとして、肺炎球菌ワクチン予防接種があります。1回の接種で5年間有効といわれています。

しかし、このワクチン接種費用は5千円から8千円と高く、わずかな収入で暮らす高齢者にとって負担が大きいです。

質問

予防接種費用の公費助成の実施を。

答 井 生活福祉部長

現在のところ、任意接種であることから助成する考えはない。

質問

全国的にも助成内容にばらつきはあるものの助成制度は広がっている。



岩出市で、全額助成が無理なら一部を助成する方法。65歳以上全ての対象が難しいという判断であれば70歳以上。または、75歳以上を対象にしたり、どのようになれば高齢者の命を守れるか、市にあつた方法を模索し、議論を行い考えていく必要があるがどうか。

答 井 生活福祉部長

国では、予防接種法の対象としているが、現在検討中であり、国の動向を注視していく。

20歳から39歳までの健診。 自己負担の見直しを

これまで20歳から39歳までの健診は、市独自施策として、全額市が負担をしていました。近隣市町村には見られない独自性のある素晴らしい施策です。

若い世代から健康管理に積極的に携わることで病気を防いだり、将来にわたり健康への意識が向上し、このことが医療費の抑制にもつながります。しかし、今年度から自己負担3千円が必要となりました。

質問

自己負担を強いた理由は。

答 井 生活福祉部長

20歳、30歳代の健診の受診率は徐々に減少傾向である。治療を必要とする方がごく少数で、いずれの方も重篤な疾患ではない。

県内多くの市も、すでに廃止している事業。し

か、健康管理の大切さを意識づけることが重要と考え、健診を希望する方には、相応の負担を頂くことで継続実施することにした。

自己負担で、健診者が減少すると予想される。検証結果では無料に戻す考えはない。

質問

自己負担で、健診者が減少すると予想される。検証結果では無料に戻す考えはない。

答 井 生活福祉部長

検証は行うが、無料に戻す考えはない。



環境対策を！

期日前および不在者投票の対策

質問

- ① 国政選挙の期日前および不在者投票の推移は。
- ② 投票所入場券に宣誓書記載の考えについて。



玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

① 答 弁 選管書記長

衆議院小選挙区選出議員選挙	参議院和歌山県選挙区選出議員選挙
・平成 17 年 9 月 11 日執行分 期日前投票 4,544 人 不在者投票 153 人	・平成 16 年 7 月 11 日執行分 期日前投票 3,168 人 不在者投票 141 人
・平成 21 年 8 月 30 日執行分 期日前投票 6,081 人 不在者投票 151 人	・平成 19 年 7 月 29 日執行分 期日前投票 4,721 人 不在者投票 109 人
・平成 24 年 12 月 16 日執行分 期日前投票 5,247 人 不在者投票 143 人	・平成 22 年 7 月 11 日執行分 期日前投票 5,064 人 不在者投票 156 人

② 前向きに検討する

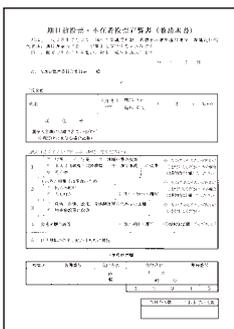
② 期日前投票の利用者数が増加傾向にあり、選挙人の利便性を考慮すると受け付け時の待ち時間が短縮されるメリットも考えられる。他市の状況を踏まえ前向きに検討する。



投票所入場券 (表面)



投票所入場券 (裏面)



期日前投票・不在者投票宣誓書

有害鳥獣

対策JCSM

質問

- ① 有害鳥獣による被害の現状と繁殖状況は。
- ② 有害鳥獣駆除補助事業拡大の考えは。
- ③ 猟友会後継者育成の環境整備と今後の対策は。

答 弁 事業部長

- ① 平成24年度、岩出市に届け出があった有害鳥獣は、イノシシとアライグマ。
- イノシシによる被害は、水稲・果樹で8地区の区長からあり、アライグマは、野菜など岩出市全域にあり、個人による47件の届け出がありました。
- 繁殖状況も増加傾向です。

- ② 和歌山県猟友会紀の川岩出支部岩出分会に、わな猟を基本とした捕獲を依頼している。

(補助制度)
イノシシ

一頭8,000円

アライグマ

一頭3,000円

- ③ 猟友会の後継者育成は、重要な課題です。岩出市は、有害鳥獣

捕獲対策強化のため、和歌山県猟友会紀の川岩出支部岩出分会と連携して、支援等行っていきます。



捕獲したアライグマ

各常任委員会 活動報告

総務文教常任委員会

- 委員長 井神 慶久
副委員長 宮本 要代
委員 梅田 哲也
〃 西野 豊
〃 三栖慎太郎
〃 市來 利恵

視察報告

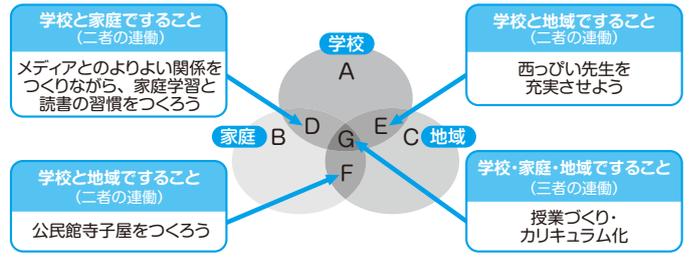
☆平成25年5月21日
福岡県春日市に視察に
行き、

「コミュニティ・スクール」地域が支える開かれた学校の仕組みづくり」について説明を受けました。

① コミュニティ・スクールの内容について
② 導入された経緯、現状と課題について
他にも、岩出市からの質問に答えていただき、有意義な意見交換を行いました。

◎学校・家庭・地域が連働（連結・協働）した取組み

(E) の例
学校と地域の連働



☆平成25年5月22日
福岡県古賀市において、「共働のまちづくり」の説明を受けました。

その後、
① 「校区コミュニティ」の推進



生涯学習には、「個を磨く生涯学習」や「社会の関わりの中で学ぶ生涯学習」などさまざまな活動があるんだなあ。

② 「まちづくり出前講座」の取り組みの経緯と現状、今後の課題について、岩出市の質問に答えていただきました。

◎ 取り組み例

ユニークなネーミング（おっぱい都市宣言）を掲げ子育てをする光市。子ども条例制定の総社市ともに、子どもの重点支援を実施しているまちの現状視察です。

研修目的

視察報告

平成25年5月15日～16日、山口県光市と岡山県総社市へ視察研修に行ってきました。

- 委員長 山本 重信
副委員長 福山 晴美
委員 田畑 昭二
〃 吉本 勸曜
〃 増田 浩二

厚生常任委員会

「コミュニティ・スクール」を視察したことで、学校が地域に支えられることにより、子どもが育つ地域基盤形成につながっていくことを学びました。



- ・ 妊娠後期 乳児期
- ・ 幼児期（心を育む）
- ・ 思春期入口（小学5年）
- ・ 思春期中期（中学2年）

光市・あっぱい育児方法
左記に分類し、すべての人が温かい心をもち、人間へと成長することを目指す。

行動規範

- ・対話
- ・調和
- ・人の和

基本理念

- ◎意欲的に物事に立ち向かう力が育つ
- ◎人への思いやりが育つ

おっぱい育児はだれでもできる行為です



総社市・子ども条例作成

子ども条例第23条まで作成。子育て王国を目指して、子ども課を設置し、積極的に活動されている。

具体的活動例

- ・子ども課職員26名
- ・子ども議会開催
- ・児童発達障害支援センター運営（指定管理）
- ・その他
- ・ごみ減量化率30.99%

視察感想



両市とも活発な説明と、意見交換が実施され有意義な視察研修でした。この貴重な経験を活かしたいと思えます。

最後に、子ども医療費無料化を実施した市で、財政負担増で、見直しを余儀なくされ苦慮されている市がございました。難しい問題だと痛感しました。

建設常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 玉田 隆紀 |
| 副委員長 | 田中 宏幸 |
| 委員 | 松下 元 |
| 〃 | 上野 耕志 |
| 〃 | 尾和 弘一 |

視察報告

5月23日～24日にかけて福岡県の朝倉市及び糸島市へ行政視察に行ってきました。

朝倉市

「老朽危険空き家の適正な管理に関する条例」について説明を受けました。

○この条例が制定された経緯について。

○認定リストに登録している家屋等の件数について。

○条例制定後の危険家屋の推移について。

○老朽危険空き家が発生する原因について。



糸島市農力を育む基本計画



計画期間 2011-2015

平成23年3月

人も元気 まちも元気 新鮮都市いしよま

福岡県糸島市

糸島市

翌日、糸島市の農業振興施策について説明を受けました。

○農力を育む基本条例について。

○農業・農村が持つ主な農力について。

○多様な担い手の育成について。

○目標達成のために市及び市民の取り組みについて。

○今後の計画と課題について。

2日間にわたり、活発な意見交換が行われました。

都市化が進んでいる岩出市の中で、農業に従事されている方もたくさんいます。

今後、安定した農業経営ができるよう改善しなければならぬと考えます。



いわで
ふおとぎゃらりい

やったね♪
😊



わ~い!
いっぱい
とれたよ!



早く食べ
たいな~♪

来年も植え付けや
収穫に参加しよう!!



9月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。
ぜひ傍聴にお越し下さい。

9/5(木)、11(水)、24(火)、26(木)、27(金)

- 議会広報常任委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉本 勸曜 |
| 副委員長 | 宮本 要代 |
| 委員 | 田中 宏幸 |
| 〃 | 西野 豊 |
| 〃 | 山本 重信 |
| 〃 | 福山 晴美 |
| 〃 | 市来 利恵 |

編集後記
地域に密着した広報紙作りを学ぶため、議会広報常任委員会は、7月に開催された「第26回近畿市町村広報紙セミナー」に参加いたしました。

昨年、コンクールで奨励賞を受賞し、今後「もいわで議会だより」の更なる掲載内容の充実と、何よりも市民の皆様読んでいただける紙面づくりに励み、市民と議会の架け橋に少しでも近づけることができると、取り組んでいます。

今後とも、ご愛読の程よろしくお願いいたします。

